

枝豆実績検討会・栽培講習会・販売額1億円達成祝賀会



01

12月19日(水)、秋田市の第一会館で枝豆の実績検討会と栽培講習会が行われました。生産者ら約70名が参加し、今年度の販売状況や次年度の栽培に向けた対策などが話題に上がりました。

枝豆の今年度の作付面積は前年度比14ヘクタール増の69ヘクタール。大雨や低温、日照不足の影響がありつつも販売額は前年度比138.6%の1億23万円、出荷量は同137.8%の150.2トンに上り、管内で枝豆の生産が始まってから初めての1億円突破となりました。栽培講習会では今年度の生育概況を振り返り、次年度に向けて気象リスクや病害虫への対策、適期作業における注意点などを学びました。

同日、販売額の1億円達成を祝う祝賀会も開催され、高品質かつ高反収な枝豆の生産振興に努める優良生産者として農事組合法人平沢ファームが表彰されました。

01 優良生産者表彰を受ける
(農)平沢ファーム(左)

02 実績検討会の様子



02

NEWS & TOPICS

「美味しい米」コンクール最終審査会

12月20日(木)、「美味しい米」コンクールの最終審査会が開催され、米穀販売関係者やJA役員ら16名が参加しました。

コンクールは良食味米の生産促進と生産者の意識向上を目的に平成25年から開催されており、当日は今年度の最終審査に残った9点の食味評価が行われました。

審査員は白米を観察したり食べ比べたりしながら、味や外観、香りなど6つの観点から総合的に評価しました。審査結果は後日発表され、最優秀賞に輝いた米は「美味しいJA秋田なまはげ米」としてJAの直売所で限定販売する予定です。



米を食べ比べる審査員

役員研修会

12月27日(木)、天王支店で役員研修会が行われ、全組合員へのアンケート調査に向けて実施目的や調査方法を確認したほか、内部統制の整備や経営健全性の確保に向けた取り組みを学びました。

JA秋田中央会経営総合対策部からは内部統制の意義や必要性、各役員の役割について説明がありました。そのほかJAの経営における健全性や透明性、持続可能な経営基盤を確保していくための指標や取り組みも学び、参加した役員26名は法令等遵守や内部管理態勢などへの意識を高めました。JAはこれからも、役職員のコンプライアンスへの意識向上に努めていきます。



全組合員調査やコンプライアンスの意識向上を図りました

